

的なものを高めていくと、もっといろんな曲ができると
思います。楽しみだね。

■田中さんから見て吉川さんはどんなギタリストですか。
田中●初めて忠英さんの演奏を聴いたのは、大阪の楽
器店のイベントだったんです。その時驚いたのは、音の
ダイナミクスもさることながら、すごく繊細にチューニ
ングされること。そういう部分と音を出すときの大胆
さ。ダイナミックな部分と音の粒子まで磨いて美しい音
を出す繊細さ、その両面が印象深かったです。

吉川●よくサインでね、何か書いてって言われると「大
胆かつ繊細」って書くのね。もうほんと、他人とは思え
ない。

田中●それから忠英さんはすごく若いんですよ！ 忠
英さんと電話で話すと最後に「アッキーには負けな
いからな！」ってガチャーンって電話を切る！ 61歳で、ア
コースティックギター界の巨匠と言われてるのに、こ
の向上心。凄いです。「日々切磋琢磨だよ彬博！」って吉
川さんから言ってもらったことがあって、その言葉を大
切にしています。吉川忠英さんという理想のギタリスト
像があるので、僕は忠英さんぐらいの年齢になっても
ずっとギターを弾いていたい。人生の目標です。
吉川●まだまだ。まだ20年ぐらいは現役バリバリで弾
きたいよね。

36は音が繊細で艶やか
A.R.E.は本当に凄いです。

■お二人ともヤマハのLシリーズを愛用なさっています
が、現在使っているギターについて教えてください。

田中●ライブもレコーディングもヤマハのLです。Lは
弾き込むと音がだんだん自分の好みになってくる。僕
はフィンガーピッカーで、ベースから上の音域まで、普
通のギタリストよりもずっと広いレンジを使います。そ
ういう弾き方をしていると、Lシ
リーズはそれに合った音になっ
てくるところが凄いです。それ
に長く使っても、全然トラ
ブルがない。普通のギターだと
ネックが曲がったりボディのブリ
ッジのあたりが脹らんだりし
て、音がビビってくるから頻繁
に調整に出すことになるんです
が、Lではそういうことは全
くありません。ステージで安
心して毎日弾ける、プロが頼

るギターだと思えます。

■音色についてはいかがですか。

田中●Lシリーズとはいっても、26と36で全然違う印
象を持っています。僕は36が好み。26はいい意味で粗
いイメージがあって、音のツブがすごくはつきりして
るんです。僕のイメージだとLの26はアメリカの乾いた
音。36はすごく繊細で、バラードを弾いたときに際立ち
ます。1音ポーンと出た後スライドをした時、音のツブ
がキラキラってついてくる感じ。とても艶やかで美しい
音です。シェイプはLSかLJが好きですね。クビレの幅
がよくて、座って弾いても立って弾いても気持ちよく体
にフィットする気がします。



吉川●僕も音については同感だね。36のほうがふくよ
かで繊細な音。僕も36を使っていてメインはLJ36。変
則チューニング用にはLJ26Cを2本使っています。

■LシリーズがA.R.E.になりましたがA.R.E.はいか
がですか。

吉川●A.R.E.は良いですよ。もう明らかに違います。ポ
リュームも。立ち上がりも速いね。

田中●僕はLシリーズを2年間使っていてじっくり音を育て
ているんですが、A.R.E.を弾いてみたんです。正直言っ
て僕のギターよりA.R.E.のほうが良かった。ちょっと悔

しかったんですが、普通新しいギターは1弦あたりに耳
障りな部分があるんですが、それが落ち着いている。
音が乾いていて、軽やか。でもチープではない。逆に音
量があって不思議な感覚です。

しかもA.R.E.の良い点はヴィン
テージギターみたいに古いギ
ターじゃないから、セットアップは
いいし、キズつない。古いギ
ターはたいていブリッジが無く
なっていて音がバチバチいうこ
とが多いんです。A.R.E.には古
いギターの良い部分だけがあつ
て、悪い部分がないんです。

■A.R.T.ピックアップシステム
はいかがですか。

田中●大好きです。ボディの音を拾ってくれるし、ハウ
リングもないし、クリアだし、GAINがすごくあって。い
ろんなメーカーのギターに推奨しているピックアップを
つけて徹底的に比較しましたが、A.R.T.がいちばんい
いですね。普通だとピエゾマイクにマグネットを併用す
るのが主流なんですが、A.R.T.ならマグネットマイクを
付ける必要はないです。

吉川●ほんとにいいですよ。いままでライブでの音で
は苦労してたけど。いろんなものを使ってきたけど、
A.R.T.は本当に良いです。最近ではライブでもギター用
のマイクを立てないで、ラインだけ。ミキサーの人にも
「音はフラットで。リバーブだけ用意してくれればい
い」って言ってます。ぜひ彬忠のライブでその音を聴い
て欲しいと思います。

このツアーのために
「水を汲む少女」って曲を作りました。

■「吉川忠英 VS 田中彬博 ACOUSTIC MIND
2008」の見どころを教えてください。

吉川●お互いのソロのパートがあるので、それぞれの
ギターの持ち味をじっくり聞いて欲しいのと、今回の
ツアーのために新曲を作りました。「水を汲む少女」っ
て曲です。今日練習したんだけどね。いい曲ですよ。
これが目玉かな。あとはみなさんご存じの曲を何曲か
演奏しますので、ぜひお楽しみにしてください。

田中●ライブを見てもらって、僕と忠英さんが、音で
つながっている部分をお客さんにもわかってもらえたら
凄く嬉しいと思います。ぜひ見に来ていただきたいと
思います。

YAMAHA
Vol.3

Interviews & News of Excellent musicians collaboration with YAMAHA musical instruments products. 2008 November
LM NEWS

「DTXならダイニングから
数歩で、すぐセッション！」

菅沼孝三 PLAYS
Birch Custom & DTX Series

「フミ (POLYSICS) VS
森本夏子 (bonobos)
女性ベーシスト対談！」

FUMI PLAYS SBV
N. MORIMOTO PLAYS BB

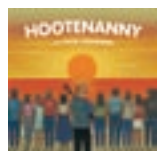
「バンドではMOTIF、
弾き語りではCPです」

ワタリ (風味堂) PLAYS
MOTIF XS8 & CP300

「ヤマハのベースは
ウォームでリリカルだ」
TONY GREY
PLAYS TRB

「Acoustic Mindの見どころは、
二人で作った新曲」
彬忠 PLAYS L Series

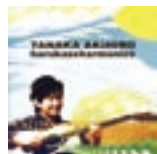
Information



吉川忠英
『HOOTENANNY with
吉川忠英』
VICL-62818



THE NEW FRONTIERS
『THE NEW FRONTIERS sing
THE KINGSTON TRIO』
VICL-62871



田中彬博
『harukazeharmonics』
Harvest Moon Record
SPHM-0001

吉川忠英VS田中彬博
全国ツアー開催!

Yamaha Presents
ACOUSTIC MIND 2008

吉川忠英&田中彬博が、ヤマハプレゼン
ツ「ACOUSTIC MIND 2008」で全国を
ツアー予定。トラディショナル×フィンガ
ースタイルという異なる魅力を持つ二人の
共演をぜひご堪能ください。

ツアースケジュール

11月22日(土)	福島県福島市	福島AXC6F studio WGS84
11月23日(日)	東京都渋谷区	J-POP Cafe Shibuya
11月29日(土)	大阪市中央区	ヤマハ心斎橋店内サロン
11月30日(日)	新潟県新潟市	ヤマハホール新潟
12月 6日(日)	東京都千代田区	御茶ノ水クリスタルセンター アイリーンホール
12月 7日(日)	茨城県つくば市	ヤマハミュージックスクエアTSUKUBA
12月13日(土)	横浜市西区	ヤマハ横浜店ホール
12月14日(日)	広島市中区	ヤマハ広島センター7Fスタジオ

*詳しくはhttp://www.yamaha.co.jp/product/guitar/event/a_mind2008/index.htmlをご覧ください。

Instruments

LJ26ARE
メーカー希望小売価格(税込)
304,500円
A.R.E.処理により、
長年弾き込まれたような
豊かな鳴りを実現。



A.R.E.とは

温度、湿度、気圧を高精度にコントロールす
ることで、木材に物性的変化を与えるヤマ
ハ独自の特許技術。Lシリーズではボディ
トップ(表板)にA.R.E.材を採用。新品のギ
ターでありながら、響きはまさにヴィンテ
ージ。アコースティックギターの新たな切り
拓くサウンドです。



人気のピアノトリオ、風味堂のリーダーにしてボーカル&キーボーディストの渡 和久。ポップでハートに響くソングライティングと独特なボーカル、エネルギッシュなキーボードプレイ、そして帽子が彼のトレードマークだ。そんなワタリ氏に、ピアノの事、作曲りのこと、そしてMOTIFやCPの使いこなしについてインタビューした。

ワタリ(風味堂) PLAYS MOTIF XS8 & CP300

オスカー・ピーターソンを聴いて目覚めた「男のピアノ」



■最初にピアノをはじめたきっかけを聞かせてください。
●高校卒業間際の頃ですが、テレビを見ていたらオスカー・ピーターソンがピアノを弾いていて、ピアノってカッコいいなって思ったんです。たぶん昔の映像が何かだと思っただけです。
■それまでは音楽は全然やっていないんですか。
●やってません。母親がピアノの先生だったんですが、小さい頃「ピアノを弾きなさい」と言われたりして、正直言って嫌いで、あまり見たくない楽器だったんです。バスケをやっていました。

■どうしてオスカー・ピーターソンで急にピアノに目覚めたんでしょうか。
●ピアノを弾く姿が今までと全然違う感じだったんです。それまでピアノは女性の習い事、っていう感じ。でもオスカー・ピーターソンはとても男性的だった。ああいう風にピアノが弾けたらいいなって思ったんです。
■高校3年からピアノをはじめて、しかもジャズってのはかなり難しかったのでは？
●「誰でも弾ける簡単なジャズ」みたいな楽譜を買ってきて、「ド」とか「レ」とか、そういうところから。最初は母親に「ちゃんとピアノがやりたい」と言ったら「ハノンとバイエルからやりなさい」と言われたんですが、それはやりたくなくて。だから独学です。教本で最初に弾いたのはスタンダードの『いそしぎ』。この曲が弾けるようになるのに、4ヶ月ぐらいかかったかな。やっと弾けるようになった時、ピアノってもの凄く面白いんだなって思いました。それから教本の曲をどんどんやり始めて。ある時セロニアス・モンクの曲集を

買って来たんですが、彼には独特の「間」があるので、楽譜を見るだけじゃ弾けなくなってきて「実際にCDを聴かないとだめだな」って思って、耳で確かめながら弾くようになりました。それから耳コピーが中心になりました。

スティービーが「この曲、いいだろ」って言ってる気がした。

■そのままジャズピアニストを目指したわけではないですよね。
●最初は自己満足でジャズが弾ければいいと思っていましたが、大学でバンドをはじめたあたりで、ジャズからだんだん離れていきました。バンドを初めて体験した時、みんなでワウってやっているのが衝撃的だった。とても楽しかったんです。最初はエアロスミスやティン・パパールのコピーバンドです。特にディーブ・パーブルのキーボードのジョン・ロードが好きでした。
■今からはちょっと想像できないですね。
●そうですね(笑)。その後、また全然違うんですが、ソウル系のバンドに入って、今度はブラックミュージックって、こんなにカッコいいんだって衝撃を受けて。その頃にスティービー・ワンダーをちゃんと聴いたんです。



す。彼のCDを聴いていると、もう自由に作曲してる。それまでエアロのコピーがカッコイイと思っていたのに、

ああいう風に自由に曲を作れるということが、うらやましくなってきました。自分で作って、自分で歌ってる。まるでスティービーが「いいだろこの曲、オレが作ったんだぜ」って言っている気がして。それでオリジナルを作ることにも目を向け始めました。

デモテープはMOTIFで。ドラムパターンも手弾きです。

■自分で曲を作るのは、やっぱり楽しかったですか。
●楽しいですね、今でも。まだ世の中にないものを作るわけですから。僕は曲を作るとき、バンドで演奏する前に自分でデモ音源を作るんですよ。MOTIFに入っているドラムの音を使って、鍵盤でリズムパターンを弾いて録音していくんですが、そのリズムを作っていく作業が凄く面白くて。その後にはベースを入れていく。今はもっと便利なモノがあるのは知ってるんだけど、この自分一人でドラムやベースを入れていく作業が楽しいんです。
■デモテープ制作で使うのはMOTIFだけですか。
●MOTIF XS8だけです。僕が使ってるMTRIは古いせいか、一発でないと録音できない(笑)。だからまずテンポを決めて、適当な長さでクリックを入れるんですよ。その後にはピアノを入れて、それを聴きながらドラムをリアルタイムに演奏する。間違えないように(笑)。オカズのタムも、ハットのオープンも、ちょっとスプラッシュも鳴らしたりして。とにかく一生懸命リアルタイムで入れます。オケができたら、歌もハモも入れる。なるべくデモの完成度を高くないんです。多分自分一人でこう



やっているモノを作る感覚が好きなんだろうね。
■MOTIFのいい点は、どんなところですか。
●もちろんピアノタッチの鍵盤も素晴らしいんですが、出音がとてもリアルですね。ドラムの音色では「ドラマイスタンダード」が好きですし、エレクトリックピアノの音、ローズの音がすごくいい。生ピアノのサウンドも気に入っています。

バンドで弾くならMOTIF。弾き語りの時はCPを使っています。

■ライブでもMOTIFを使っているらしいですね。
●バンドでライブをやるときのピアノは、生のピアノよりもMOTIFのほうがバンドサウンドに馴染みたいですね。ジャズみたいに、ウッドベースやブラシのドラムとだとアコースティックピアノのほうが良いと思うんですが、ドラムがドン!バン!って入ってベースもエレキベースの時はMOTIF。ピアノにとって肝心な中音域のところはMOTIF。ピアノにとって肝心な中音域のところはMOTIF。ピアノにとって肝心な中音域のところはMOTIF。ピアノにとって肝心な中音域のところはMOTIF。
■CP300も使うそうですね。使い分けは。
●バンドではMOTIFですが、弾き語りだとCP300が好きなんです。CP300は、低音の音色が凄くリアル。あと本体にスピーカーが内蔵されていて、そこから音が出る。これも実は大きいです。弾いていて気持ちが良いんですよね。ただバンドで使うとローが出過ぎてベースと音域がカブってしまうことがある。だからバンドは中音のスケがよいMOTIF、弾き語りは音が重厚で

低音がガチッと出るCP、という風に使い分けてます。そう、CPに入っているハーブシコードの音がすごい良くて。あの音はいつかライブで使ってみたいなと思ってます。



まず歌詞、そしてサビメロを大切に。それがワタリ流作曲。

■読者にも曲を作りたいという人が多いと思いますが、曲を作るコツは？
●まず言葉が大事です。曲を作る時は歌詞を大切にしたいですね。僕は基本的には歌詞を先に作りたいんです。で、歌詞の世界ができたら、どういう雰囲気でのこの言葉を伝えようかな、って考えます。明るい曲に明るい歌詞が乗るだけじゃなくて、たとえばすごい明るい歌詞だったら、あえて曲調を暗めにするとか。明るいオケなのに言っていることがちょっと悲しいとか、そういうコントラストが面白い。それからサビのメロも大事で、ここだけはちゃんと聞かせたいって思いを込めて作ります。いろいろ音楽理論もあるんですけど、僕は「自分が気持ちいい」と思った音を見つけて、自分の感覚を信じて作ってます。
■歌詞はどんな風に作るのですか。
●僕の作詞のパターンは、これまた毎回違うんですけど、ある一言が出たら、そこから紡いでいく。自分が

思っていることをそのまま歌詞にすることもあし、全く自分とは別、架空の人を作ってストーリーを紡ぐこともある。それから、自分が知っている人を主人公にすることもあります。
■ワタリさんは、どんな時に音楽を作るのですか。
●昔は言葉やメロディを思いついた時に曲を書きました。スケジュールもあるので、作曲りの期間を設定して、そこでホテルにカンスムになって書いてます。集中できるし、自分を追い込んだ方が僕は曲が書きやすいんですよ。MOTIFをホテルの窓際に置いてね。一人で閉鎖された場所の方が僕は曲が書きやすいです。最初の曲ができるまでがツライですね。一曲できると、あとは流れが見えてきたりしてスルスルっと書けることがあります。

ロックのピアノトリオには、すごく可能性があると思う。

■最近ピアノ弾きがあるバンドが少ないんですが、ピアノでロックをやりたいという人にアドバイスはいただけますか。
●ピアノという楽器は音域的に全部のレンジをカバーできる楽器。バンドサウンドの時はベースより低音を出していることもあって、そういう楽しさがあります。でも、ピアノだからって特に難しく考えなくても、意外に普通に弾いてもバンドの音は成り立ちますよ。ギターと同じようにピアノにもパワーコードがあるし、カットイングをやろうとしたらそれはそれで面白い。ピアノトリオのロックって、決まりがないし、すごい可能性を秘めている編成だと思うんです。自分なりのやり方で、ぜひ試してみてください。

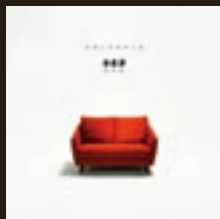


Information

約1年2ヶ月ぶりのニューシングル遂にリリース決定!

半年の制作期間を経て完成した新曲群から風味堂にしか表現できない究極の純愛ソングをシングルカット。震えるほど真摯な愛のうたが誕生!

2009年1月21日Release NEW SINGLE 「大切に करनाね」 C/W 「おやすみベイビー」 「Sunshine Blue Sky」 VICL-36484



渡和久、初のトークイベント出演決定!

イラストレーター、エッセイスト、作家、プロデューサー業など多種多才の顔で活躍するリリー・フランキーさんとのトークライブ。コラボレーション企画(ミュージックシーン)も必見!

2008年12月11日(木) 19:00開演 恵比寿ガーデンプレイス ザ・ガーデンホール

詳細他最新情報は<http://www.fumido.jp/>まで

Instruments



MOTIF XS8
メーカー希望小売価格
388,500円(税込)



CP300
メーカー希望小売価格
270,900円(税込)

バランスドハンマー鍵盤採用の88鍵モデル

ピアノタッチを実現したステージピアノ

FUMI PLAYS SRV / N. MORIMOTO PLAYS BB



フミ (POLYSICS) VS 森本夏子 (bonobos) 女性ベーシスト対談!

POLYSICSのフミ、bonobosの森本夏子。日本のロック界を代表するこの二人の女性ベーシストに、音楽について、ベースについて、そして女性がベースを弾くことについてにぎやかに語ってもらった。



る時POLYSICSのリーダーに誘われて、POLYSICSで演奏することになって、ベースはそこからです。
森本●私も高校生の時はバンドができなかったのでギターを弾いてました。でもリズム隊が好きで、バンドだったらドラムかベースがやりたいかったです。最初に出会ったのがbonobosのドラムの辻川だったので、じゃ私はベースをしようって、ベースをはじめました。

ベースはグループ担当。楽しいけど責任重大です(森本)。

■ベースを弾きはじめたときの苦労は?
フミ●ギターに比べると弦を押さえるのに力がいるんだな、って思いました。あと曲中でベースが抜けたらダメ。しっかり弾いていないと曲が成り立たないので大変かな。バンドの支え役ですね。

■ではベースの楽しさは、どこにあると思いますか?

森本●歌が一番近いと思うし、グループはベースが出す、という気がするんで、そ



SETSTOCK'08

こが楽しいところです。ドラムはビート担当でベースはグループ担当という感じ。楽しいけど責任はめちゃくちゃ重大です。
フミ●POLYSICSはシーケンスを使う日もあるので、機械を使った演奏の中で人間らしいグルーブをベースで出すっていう役割です。

**フミさんは男前なベーシスト(森本)。
 森本さんは凶暴なローを出す人(フミ)。**

■女性ベーシスト同士として、お互いをどう思っているか聞かせてください。

フミ●森本さんは雰囲気はおっとりしてるけど、実は凶

暴なローを出す人っていう感じ。涼しい顔してドーンっていう凄いのを出すんです。

森本●フミさんは、男前なベーシストですよ。世界のギターキッズたちを虜にして! 中学生や高校生が「バンドやりたい!!」という初期衝動をちゃんと残してる。すごいことですよ。

BBはワングループで押すノリのベースに向いた音だと思います(森本)。

■森本さんはBBの5弦モデルをお使いですね。

森本●最初は別の4弦だったんですが、5弦が欲しいなと思ったときにちょうどヤマハのBBの5弦と出逢って。BBは音作りがしやすいし、出力もある。あとヒップホップ系のベースっていうか、ワングループですと押し、みたいなノリのベースを弾くのに凄いいい音だと思って。

■4弦から5弦へのスイッチは大変でしたか?

森本●最初はめちゃくちゃ苦労しました。すぐ弾けると思っていたんですけど、弾いてみると別の楽器みた



い。でも5弦になって出てくるフレーズも変わるし、ベースの役割がさらに明確になった気がします。

■フミさんはSBVですね。

フミ●今使っているのはSBV。ここ6~7年、ライブもレコーディングもSBVだけです。全部で8本ぐらい持ってます。このベースの好きなところはレスポンスが速いこと、音がポンッとヌケる感じ。ちょっとじゃじゃ馬なところが凄いい好きなんです。

**ベースは、お母さんみたいな感じ。(森本)
 まとめ役、ハンバーグのつなぎ。(フミ)**

■お二人のお話を聞いているとベースは女性に向いているような気がしてきました。

森本●私はそう思います。包容力や芯の強さが必要やしね。お母さんみたいな感じ?とても強い楽器ですから。なんか母性とか大地というか。

フミ●あたしなんかハンバーグのつなぎみたいな気分です。まとめ役。一個にまどめる何かみたいな。

■最後に今後の活動について聞かせてください

フミ●POLYSICSは10月からアメリカツアー。帰国してすぐ日本のライブツアー。10月末にライブのDVDがリリースされる予定です。ライブばかりですね。

森本●いまずとアルバムに向けて曲づくりをしていて、アルバムを年内にレコーディング、年末にはツアーがあって。春にはアルバムを出したいです。



ベースはセンスの塊。ジャンケンで勝ってやる楽器になって欲しいです。

■読者のベーシストへのメッセージをお願いします。

森本●ベースは何かと人気のない、ジャンケンで負けたり、余っている人が回される楽器でありがちなんですけど、そんなことはなくて、一番リズム感とセンスの塊が必要な楽器。とても大事なバンドの要なので、みなさん、すすんで弾きましょ。ジャンケンで勝ってベースをやるぐらいになって、ベース人口がもっと増えると嬉しいです。

フミ●「基礎練習もライブも楽しむべし」って感じ。ベースってほんと、楽しいですよ。あと、バンド女子へ。ライブで打ち上げに出て、お化粧を落として寝るようにしてください。それがバンド女子の掟です。



フミ使用ベース:SBV550(生産完了) 森本夏子使用ベース:BBカスタム(プロトタイプ)いずれも現在市販しておりません。

TONY GREY PLAYS TRB



ヤマハのベースは、ウォームでリカル。しかもラウドにもダイナミックにも演奏できるんだ。

伝説のジャズギタリスト、ジョン・マクラフリンの甥であり、上原ひろみ率いるHIROMI'S SONICBLOOMのレギュラー・メンバーとしても世界をかける新世代ジャズベーシスト、トニー・グレイを来日中にキャッチ!

■ベースをはじめたのいつですか?

●19か20の頃。その頃自動車事故で背骨を折ってしまった。落ち込んだ僕を元気づけようとして家族がベースを渡してくれた。なぜベースだったのかは分からないけどね。それまで楽器を弾いたことはなかったんだけど、叔父のジョン・マクラフリンのアドバイスもあって、すぐに夢になったんだ。

■上原ひろみとの出逢いは?

●8年ぐらい前、パークリー音楽学院で。彼女は当時から凄かった。僕の卒業コンサートで弾いてもらったり、お互いに呼び合って親しくなったんだ。もう5年一緒にプレイしてるんだけど、彼女の音楽はいつもチャレンジングで、エキサイティングだ。ヒロミと一緒にバンドをやるようになって、僕は自分のボイスを見つめることができた。彼女はいつも僕に「歌うべきベース」を作ってくれるからね。

■ヤマハの6弦ベース(TRB)をプレイしていますが、気に入っている点は?

●これは僕のためにヤマハが作ったベースなんだけど、弾きやすくて体にフィットするし、とても快適にプレイできる。音もグレートだ。僕はメロディをプレイするのが好きで、暖かいトーンが好みなんだけど、ヤマハの音は暖かくてリリカル。しかもいろんなジャンルに対応できる柔軟性もある。ラウドでダイナミックにもプレイできるベースだ。サイレントベースも使ってるよ。NYのバーでプレイする時に愛用している。アコース

ティックベースは運ぶのが大変だが、これはコンパクトで、音はとてもオーセンティック。とてもいいね。

■ニューアルバム「チェイシング・シャドウズ」について聞かせてください。

●このアルバムのほとんどの曲はヒロミのバンドで世界をまわりながら作ったんだよ。世界中でいろんなスタイルの音楽、たくさんのミュージシャンと出逢った。彼らに参加してもらって作り上げたアルバムだよ。

■今後のプランを教えてください。

●今、ヤマハミュージックメディアから出版予定の教則本を作っているんだ。日本のベーシストにはぜひ読んでほしいね。それから次のソロプロジェクトも構想中だ。今回はたくさんのゲストを集めて作ったんだけど、次作は固定したメンバーで音楽を掘り下げたいと思ってるんだよ。

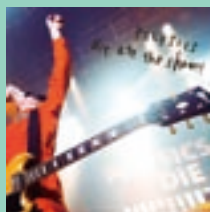
■最後に読者、特にベーシストにメッセージをお願いします。

●大切なのは全ての音楽に対してオープンにすること。そして有名になろうとか、偉大なミュージシャンになろうと思うのではなく、音楽に対して誠実であること。エイブラハム・ラポリエル(b)が言ってたけど、練習は時間ではなくて中身。「何のために練習しているか」を意識して練習することが大切だ。テレビを見ながら1~2時間怠惰な練習をしても、怠惰な演奏しか生まない。練習の意味をよく考えてプレイすべきだね。健闘を祈ってるよ。



トニー・グレイが愛用するのは特別仕様のTRB(6弦)

Information



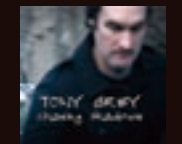
POLYSICS
 New Album
 We ate the show!!
 2008/10/29 Release
 KSCL 1316-1317

世界を巡るポリシックスの一つの到達地点、2008年6月29日、新木場スタジオコーストでの圧巻のライブをCD+DVDで完全収録。ハイエナジーでハイパワー、ロックの破壊力とばかばかしいエンタテインメント具合が同居したこれぞライブ、これぞポリシックスな一枚。

POLYSICS
 Live infomation
**POLYSICS JAPAN TOUR 2008!!!!
 ULTRA FIGHT OR DIE!!!!**
 ■11/26(水) 名古屋CLUB DIAMOND HALL
 ■11/27(木) 大阪なんばHatch
 ■11/29(土) 福岡DRUM LOGOS
 ■11/30(日) 広島CLUB QUATTRO
 ■12/03(水) SHIBUYA-AX
 ■12/04(木) SHIBUYA-AX
 ■12/05(金) SHIBUYA-AX

bonobos
 Live infomation
 ■11/15(土) BINGO BONGO SOUNDS Fukuoka BEAT STATION
 ライヴツアー-東海道三次 Vol.2 ワンマンライブツアー、決定!!
 ■12/01(月) 名古屋 CLUB QUATTRO
 ■12/02(火) 大阪BIGCAT
 ■12/08(月) LIQUIDROOM
 COUNTDOWN JAPAN 08/09
 ■12.28(日)、12.29(月)、12.30(火)、12.31(水)
 ※28日(日)に出演
 COUNTDOWN JAPAN 08/09 -WEST-
 ■12.29(月)、12.30(火)、12.31(水)
 ※31日(水)に出演

Information



トニー・グレイソロアルバム
 チェイシング・シャドウズ/
 TONY GREY
 ISOL DISCUS ORGANIZATION:
 GQCP-50003

菅沼孝三 PLAYS Birch Custom & DTX Series

ハードロックから、フュージョン、ジャズ、ポップスまで幅広いジャンルで圧倒的なドラミングを披露する菅沼孝三は、その高速で正確なドラミングから「手数王」と称されている。今回はそのドラミングの秘訣を探るべく、ご自宅に突撃インタビューしてみた。

パーチはボトムを支える感じ。メイプルは明るいサウンドです。

■今回はご自宅にまで押しかけてすいません。まずお宅で使ってるドラムを教えてくださいませんか。

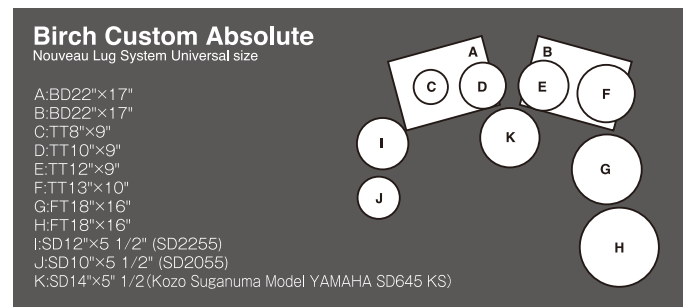
●家のスタジオにあるのは2セット。ヤマハのロックツアーカスタムとメイプルカスタムです。ロックツアーカスタムは特注カラー仕上げで「針ラメ」という特殊な塗装。メイプルカスタムも仕上げが特注仕様で、ウインターを1回だけ塗っただけのものが経年変化で濃くなってきてるんですが、このごろ特によく鳴るようになりました。バスタドラが深胴であとはレギュラーです。



特注の緑のハリラメ塗装

■ライブで使ってるセットは？

●パーチカスタムアブリュートで、サイズはユニバーサルサイズです。セッティングはセット図を参照という事で(笑)。



■メイプルとパーチはどんな使い分けをしてますか？

●メイプルは明るく鳴ってくれるんですよ。パーチはもう少しダークな感じ。ボトムを支える感じがな。パーチはバンドサウンドの時に混ざりがいいです。僕が参加してる



「Fragile」というバンドはギターが矢堀孝一、ベースが水野正敏でどっちかというウエットなサウンドだからパーチが向いているんです。メイプルはサウンドの中でドラムが立ってくるので、ドラムがフィーチャーされやすい。軽く叩いても前面に出てくるイメージです。

ヤマハのドラムはマイクのりがいい。倍音も、美味しいところだけがある。

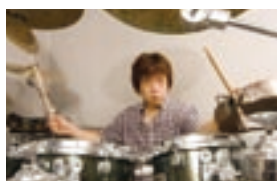
■ヤマハドラムのいいところは？

マイク乗りがよくて、レコーディングにいい楽器ってことは、ドラマーがみんな口を揃えて言いますね。レコーディングエンジニアの本音としてはヤマハで録るのがいちばんラクらしい。バランスがいいんじゃないですかね。体感音圧が爆発的にあるわけじゃないのに、太いローが出ます。それでいて繊細なチューニングにも反応してくれる。倍音のバランスもロー、ミッド、ハイとそれぞれに美味しい部分があって、決してドンシャリな音ではありません!

テーブルから数歩ですぐ音源とセッション。DTXがあれば、いつでも気軽に練習できる。

■和室にはドーンとDTXがありますが……。

●ぼくはラップトップパソコンを仕事に使ってるんですけど、座ったところが仕事場



みたいな感じなんです。よくダイニングテーブルで仕事すると、次にやる曲の音源がメールで送られてくるんですね。その曲をちょっと聴いて2、3歩いてパソコンをDTXのAUXにつなげば、もうその場でパーチャルなセッションができます。これは便利。夜中もできるし、生のドラムより体力を使わなくて叩ける。構成を掴んだり手順を考えるのにバッチリです。

■DTXは練習に向いた楽器なんですわ。

●打感がいいので、練習に適していますね。最近是最初のドラムがDTXという子も増えてきました。音源のドラムの音が良いからドラムの「いい音」を自然に覚えることができます。これはアコースティックドラムを叩くときにもプラスになりますね。もうひとつ良いのは、DTXを叩いていると無駄な力が抜けるってこと。初心者の場合、アコースティックドラムだと思いついっきり叩いてしまいがちですが、あまり良いことではないんです。その点DTXなら、リラックスしてプレイできます。



菅沼モデルは素直なサウンドと全面アタリのスナッピーがキモ。

■菅沼孝三シグネチャースネアについて教えてください。



●これはカッパーシェル。カッパー(銅)は楽器に適した素材で、ティンパニーにも使われるものです。デカイ音が出せて、しかも音質が素直。普通は強度の問題があって、カッパーシェルは真ん中に絞りがあありますが、これは試行錯誤を重ねて絞りのないカッパーにしました。だから音がストレートです。それからスネアはスナッピーの反応が命なので、全面アタリのスナッピーを採用しました。全面アタリのスナッピーの形を知らない人も多いと思うのでよく見てほしいんですが、スナッピーの張りとは別に、ボトムの面からスナッピーまでの距離を変えられます。

■スナッピーは大事なんですわ。

●スナッピーって「買ったままでいじっていない」と言う人が多いんですね。ぜひいろいろ試して欲しいですね。張りをタイトにするとツブ立ちちは出るけど、8ビートを叩いた時などのバックビートの「ザー」って音は出ないんです。ディケイが短い。かといって緩くしちゃうと、細かいティッピングは出ない。2つ打っても3つ打っても同じみたいな。全面アタリのスナッピーはスナッピーのテンションとボトムまでの距離が別々に調節できるから、タイト&ルーズができます。

■このスネアはどんな人にお薦めですか。



●いま、ウツドのスネアを使って、もう一台何かほしい、という人に試してもらいたいです。スチールの前にカッパーかなど。サウンドがスチールより柔らかくて繊細なのに、しっかりパワーがあります。もちろん全面アタリのスナッピーもぜひ試してもらいたいです。

全面アタリのスナッピーはスナッピーの張りとボトムまでの距離を独立して調整できる。

アジア・オセアニアで流れているヤマハのバイクのCMに出ました。変拍子バシバシです。

■近況を教えてください。

●11月には「Fragile」のレコーディングに入ります。それからヤマハバイクのCMに出演してまして、アジア・オセアニアで放映されています。ヤマハ発動機が新たに開発したエンジンを搭載したYZF-R1というバイクのCMなんですが、このエンジンの特長が「不等間隔爆発」なんです。それを変拍子としてドラムで表現するという、とんでもないCMです。カッコイイCMに仕上がりました。Youtubeなどで見られますので、よかったらご覧ください。

■最後にドラマーの読者にアドバイスをお願いします。

●やっぱり基礎は大事。ルーティメンツをコツコツとやっておくと、絶対いいドラマーになれると思います。ピアノだってバイエルからはじまるように、ルーティメンツは1930年からある由緒あるものだから、やってみたほうがいいですよ、実に奥深いです。



吉川忠英 & 田中彬博 彬忠 PLAY L Series

アコースティックギター界の巨匠、吉川忠英と新星、田中彬博。親子ほど年の離れたこの二人が新しいシリーズを片手にツアーをするという情報をキャッチ。リハーサルに押しかけ、二人の出逢いから、ギターの事、そして今回のツアーの情報を聞き出したのでご紹介しよう。



「水を汲む少女」という絵が好き？オレもだよって! これはもうビックリ

■最初にお二人の出逢いについて教えてください。

吉川●あるイベントで彬博の演奏を聴いたら、僕と聞の取り方が似てるな、と思ったんですよ。で、その後打ち上げで彼と話したら、秋田の平野政吉美術館という

美術館に展示されている「水を汲む少女」(リオス)という絵が好きだって言ったんです。これはもうビックリだね。実は僕もその絵が70年代から大好きで、絵はがきを買って配ったり、いつも仲間にその話をしていたんですよ。偶然同じ絵を気に入っていたなんてね。自分以外の人が「水を汲む少女」の話を聞くのは初めてだっ

たので、とても驚きましたよ。ま、それだけじゃないんですが、いつか一緒にやろうよって言って、この8月に実現したのが「彬忠」なんです。

■「間の取り方が似ている」というのは？

吉川●リズム感がいっしょなんだと思う。あえて言うならグルーヴが似てるっていうのかな。

田中●初めて忠英さんと合わせたときから、気持ちがいいんです。一緒にバツと音を出した瞬間にいちばん気持ちいい部分、びったりとあう気がします。

吉川●二人ともソリストだからね。なかなか一緒にやって気持ちいい、っていう相手はいないんですけど、彬博には「巡り会えた」という感じがします。僕はギターって、打楽器だと思っているところがあってね。小学校の頃は小太鼓、その後は吹奏楽部でパーカッションをやってたんですよ。今でもドラムを叩くしね。ギターもリズムが良いことが大事。グルーヴを出せるかどうか重要なんです。その点、彼のリズムはとてもいいし、僕も安心して共演できる。

田中●僕も高校まで吹奏楽でパーカッションをやってたんですよ。コンサートで使う打楽器は一通りやってます。そんなところも似てますね。

忠英さんと電話で話してると最後に「アッキーには負けないからな!」って(笑)

■吉川さんから見て田中さんはどんなギタリストですか。吉川●彬博のギターねえ。スゴい才能を持っている人だから、いろんなところで卓越したものが聴こえるね。まだ若いから今の実力に加えて、精神的なもの、情緒

Instruments



菅沼孝三シグネチャーモデル SD6455KS
メーカー希望小売価格 66,150円(税込)
14"×5 1/2"カッパーシェルのスネアドラム。



SILENT SESSION DRUM® DXTREMEIII
スタンダードセット
オープン価格

Information



菅沼孝三ホームページ
http://www.kozo.org/
菅沼孝三のスケジュール、使用機材、民族楽器のコレクションなどを掲載。